

9月25日開催

## 申7号 「常磐線特急の車掌乗務体制見直しについて」 の申し入れ(基本)団体交渉(2回目)を行う! ②

### 2. 「ときわ」の全列車・全区間を二人乗務とすること。

(回答) 車内での巡回状況やお客さま対応状況などを確認した結果、一人乗務を基本とした乗務体制としたものであるが、ときわの一部列車・区間については二人乗務としている。

(組合) 回答の根拠は何か?

(会社) 利用されるお客さまの9割が上野～土浦間であり、検証のデータから総合的に判断した。

(組合) 料金ほ脱の対策はあるのか? 特に土浦以北で増加すると認識している。

(会社) 運用改正以降、状況を把握していく考えである。

(組合) 1項の議論にふまえ全列車・全区間二人乗務を求める。土浦以北では一巡できない。

(会社) 仕方がない、その責任は問わない。用件のあるお客さまから来てもらうこともあり得る。

現場組合員の声に  
冷たい回答!

### 3. 安全レベルを低下させないために、ドア扱いについては最後部乗務員室で取り扱うことを基本とすること。

(回答) 最後部乗務員室以外でのドア扱いについては、関係規程上制約を受けるものではない。

**5号車でのドア扱いが前提ではないことを確認!**

### 4. 車内での防犯・防災対策を充実させること。

(回答) 車内に防犯カメラを設置するなどの対策を実施している。なお、これまでと同様に車内秩序維持を目的とした車内巡回に努め、異常時には運転士等と協力して対応していくこととなる。

(組合) 一人乗務が基本となることから求めているが、防犯カメラ以外に何かあるのか?

(会社) 現状ないが、組合からの提起を課題と受け止め、防犯対策や訓練の実施などの検討を進めていく。

現場の意見を取り入れること!

### 5. 適切な車内巡回により適切で公平なサービスを提供し、車内秩序を低下させないこと。

(回答) 車掌は可能な限り車内秩序維持を目的とした巡回に努めることとなる。

(組合) 車内秩序を低下させないことを求めている。回答文では読み取れないが、どうか?

(会社) 車掌が可能な限り巡回することで、車内秩序は低下しないと考えている。

(組合) 「ひたち」の勝田以北はどうか?

(会社) 同様に低下しないと考えている。

一人乗務が基本では今までどおりにはいかない!  
車内巡回ができなくなる=公平なサービスの提供ではない!

### 6. 施策実施後、検証を行うこと。また、問題が発生した場合は労使で協議を行い、問題を解消すること。

(回答) 運用改正後の状況は把握していく考えである。なお、具体的な提起があれば「労使間の取扱いに関する協約(平成27年10月1日締結)」に則り取り扱う考えである。

(組合) 今までになかったことを進めていく中で、特に現場の指導担当が苦勞する。現場との意思疎通を図ること。

(会社) 尽力に感謝している。現場とも意思疎通を図り、運用改正以降の状況を把握していく。

一人乗務可能な根拠が示されない=労使議論で得た結論とは言えない!  
安全の確保と公平なサービス提供の実現を目指し  
正常な乗務体制の実現をあらゆる手段で求めていきます!